

作新学院大学 ティーチング・ポートフォリオ

所属	氏名	作成日
経営学部経営学科	天尾 久夫	2024年5月1日

【責務】(何をおこなっているのか/担当授業科目その他)

前期

金融論 2年?4年次 専門科目

地域政策研究b 2年?4年次 専門科目

経済学総論 1年次必修科目 マネージメント学科

ゼミナール 2 2年次配当専門ゼミナール

ゼミナール 4 3年次配当専門ゼミナール

ゼミナール 6 4年次配当専門ゼミナール

後期

コーポレート・ファイナンス 2年?4年次 専門科目

公共政策マネージメント論 2年?4年次 専門科目

経済学総論 1年次必修科目 スポーツマネージメント学科

ゼミナール 3 2年次配当専門ゼミナール

ゼミナール 5 3年次配当専門ゼミナール

ゼミナール 7 4年次配当専門ゼミナール

【理念】(どのような考えに基づいて行っているか)

学生の日々の生活での、経営学・経済学に関係する学びと気づきに着眼して、授業を進めることにしている。彼らが卒業して就職することを念頭におき、そのとき社会で、職場の中で必要と思われるスキルだけでなく、資質を育てることに注力している。

【方法】(その考えをどうやって実現しているか)

日本経済新聞の記事、あるいは教科書の内容が現実に行き起きている経済・経営の出来事について、因果関係を考えさせることに努めている。その関係の妥当性、それが導かれる条件や環境、そして仮定について議論する場合、あるいはメディアでの意見を数種ほど説明し、学習者がどの立場を採るのかということを論理的に他者に説明できる能力を育てている。

【成果】(その方法を行った結果、どうなったか、どうだったか。自身の感想・具体的な成果物・学生からのコメントなど)

電気自動車の中日の摩擦に関する新聞紙面の内容を説明する学生が居たが、説明しながら質問により、メディアの記述に矛盾を感じて、それを別のメディアの意見から自分の考えと発表が一致していくのかを修正する事が、ゼミナールの発表で明示されていくのは、個人の特定業種ではあるが、個人の知識を深化させることになった。

【目標】(今後どうするか)

すべての授業において、レポートあるいは、プレゼンテーションを義務づけて行っているが、その内容を書面でまとめて 1000 字以内で小論文という形にして、個人の学びの深化に応じてまとめさせていくことが望ましいと考えている。論文と軽く述べる風潮があるが、新しい知見を考え出し、発表する難しさを学ばせることも高等教育に必要なではないか考える。